

デザイナーの要望

機能美の追求を

中村雅子デザイン事務所 中村雅子



左が中村さん

仕事の件数的には6割が店舗デザインで後は住宅やオフィスのデザインを手掛けている。その商空間デザインでは全体の統一感を考えていることから照明器具に関して99%自分で手を入れており、ポイント的に使う場合の照明カバリー的なものはデザインしたもの施工会社造ってもらおう。特に照明は見た目だけのデザインでなく科学的な根拠や機能的な部分が大切なのでメーカーの照明設計の人の打ち合わせは重要だ。だからメーカーを選んで仕事を頼むというよりも私の感性をわかってくれている照明設計者を選んでいい。

（デザイナー）

メーカーでなく人を選んでいる。もしその担当者が独立すれば、ライティングのソフト料を出して、仕事を頼むと思う。実際、基本的な照明の知識を知らないメーカーの人が私の会った中では多かったし、商品知識のカタログマニュアルよりも何ワットだとか何ルクスといった基本的なことをメーカーは社員教育してほしい。今、関心を持っていて照明は、タマの開発でメーカーからよいものがでてきているし、きれいなものも出始めている。これからもさらに広がりが見られる分野だと思おうので期待したい。

現在、オブジェ的な照明器具が多いが、デザインをめぐった勘違いしたユーザーやデザイナーも多いがあくまで機能美であるデザインを追求してほしい。（デザイナー）